

当面の日程

23～24日 県本部反行革・組織集会
(いこいの村はりま)
24日 県本部衛生医療評メディカルワーカーズアクション
(兵庫県学校厚生会館)
29～30日 自治労第168回中央委員会 (TOC 有明)
31日 県本部労働学校基礎編 (ひょうご共済会館)
31日 ひょうご分権・自治フォーラム (神戸市教育会館)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1673号

2025. 5. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

シリーズ 尾西が斬る! Vol.2

一刀亮談

いっとうりょうだん

5 あらためて災害を考える

災害には、地震や台風、大雪などの自然災害だけでなく、人間の不注意や怠慢が原因で起こる「人災」もあります。

人為的な原因で社会に被害を与えるという意味で言えば、この間政府が行ってきたさまざまな施策も「災害」と呼べる側面があるのではないのでしょうか。

「失われた30年」と言われるように、経済の停滞が続く、賃金が上がらない

労働者には、地震や台風、大雪などの自然災害だけでなく、人間の不注意や怠慢が原因で起こる「人災」もあります。

労働者は低賃金のまま、より効率を上げようとするあまり、ブラック企業「過労死」や「サービス残業」メンタルヘルスなどの言葉が広がりました。それに対する労働者を守る働き方改革の取り組みが始まりましたが、使用者や当局の姿勢はまだまだ十分ではありません。

政府は戦争も大きな災害と位置づけ、国民を守ることを口実に、防衛強化として防衛費の引き上げを行ってきいますが、そもそも戦争を起さないと対策を進めることが必要だと思いませんか。いつ発生するかわからない自然災害に対し、防衛費よりも先に予算の確保を行い、各自治体に向け人員体制を含む準備を進める必要があります。

また、政府の施策により、自治体ではすでに「災害」が発生している状況です。この30年、業務の効率化と

世界は労働者の祭典であるメーデー。県内では第96回兵庫メーデーが4月19日、4月27日にかけて県内15地域において開催され、式典や抽選会などが実施された。



オンライン参加の岸さんと意見交換

4月19日ひょうご共済会館で、県本部青年部女性部主催の「岸まきことゆるふわトークセッション」政治×Sweet&Game」が行われた。16単組29人が参加し、組織内議員の意義や職場と政治について考えた。

冒頭、今村龍乃介県本部青年部長があいさつを行った。メインの岸まきこ参議院議員の講演は、オンラインで行われた。カスハラ対策について「民間では広がってきたが公務職場で進んでない」と課題に言及、また公立病院については「赤字を理由に病院労働者

の賃金カットの話が出てい」と現状を危惧した。

参加者からは「技術職が応募しても入ってこない」「青年女性部で名札の表記を苗字だけにしよう求めているが、前進しない」「組合を活性化させたいがどうすればいいか」といった質問が出された。岸さんは国会内外の対応事例として「中途採用者の前歴換算を10割にするよう働きかけしている」「カスハラ対策の一環として、名札の見直しは国から通知を出させている」と説明。組合活性化については「組合員の声を聞

いて取り組むこと、組合に入って当然という雰囲気をつくるのが重要だ」と述べた。

意見交換は短い時間だったが、現場の声を政治に届ける代表者の必要性を実感できる場となった。

グループ交流では、カードに書かれたテーマに答える形で行われ「これまでに良かった政策、悪かった政策」「年休取得日数」などを話しあった。参加者からは「普段、政治の話はしないので、このような政治に関するクイズがあり、勉強になった」という声が出された。

メーデー神戸中央大会は4月26日に神戸・大倉山公園野球場で開催され、約5千人が参加した。あいさつを行った那須健連合兵庫会長は「人類が震災や災害を予知することはできないが、戦争は人々の努力で防ぐことができる」と対話に

青年女性岸まきこと
ゆるふわトークセッション

現場の声を政治へ

組織内議員の重要性を再認識

神戸中央メーデー

平和と安心社会 への団結を誓う



しこう

第39回反核平和の火リレー

今年は6月9～19日の日程で行われる。戦後80年の節目、昨年の被団協ノーベル平和賞といった情勢下、「核兵器の廃絶」を求め県内の自治体を走りつなぐ。9日の午前には、県庁前で出発集会が実施される。

組合役員として単組の学習会などの講師を依頼されることがままある。多くが組合活動に似通ったテーマで、資料や知識の再利用で対応できるため、段々と新しい知識を仕入れることが億劫になってくる▼役職や年齢が上がると、経験が増え、周囲の人からの助言・提言が減るとともに、自身も人に教える機会を減らすようにしてしまう▼仕事上では上下関係があり難いことも、趣味の世界ではどうだろう。年齢など関わりなく、その分野で一日の長がある人には、教えるを請うことを躊躇わないのではないだろうか▼年齢に関わらず、先達や師に教えるを請う姿勢は、学びを深め、人としての厚みを育むうえで欠かせない。年を取るほど、あえて新しいことに挑戦する勇気と柔軟さを持ち続けたいと思う。

いまいち座

ひとりじめ「やはり…」



大西 英剛

岸参議院議員活動報告

「公務員のなり手不足」問題を総務委員会で質問



3月24日、2025年度予算関連である地方税・地方交付税法等改正案の質問を行いました。持ち時間60分を主に地方財政の堅実な確立の方策、そして公共サービスに係る「人への投資」等について、村上総務大臣に質しました。

地方公務員の人材確保問題については、この間、都道府県庁はじめ市町村の規模に関わらず、採用募集しても応募が少ないことが全国的課題となっていることを指摘しました。一般職とともに土木職や建築職等の技術職、保育士・保健師・獣医師等の専門職の深刻な人員不足解消のためには、魅力ある職場、処遇面でのインセンティブを付加する知恵を絞るとともに、ラスパ

イルス指数の弊害の解消に努めました。

あわせて、会計年度任用職員の処遇改善前進のための引き続きの取り組みを行うよう要請しています。

また、20年以上が経過した指定管理者制度や委託事業については、物価変動や賃金相場の引上げを反映して、そこで雇用される労働者の賃上げが実現可能な制度となるよう制度や事業運用の検証と見直しを強く求めました。



活動への更なる支援を全体で確認

2025年4月26日、兵庫県中央労働センターで高校生平和大使を支援する兵庫県実行委員会が第6回総会と活動報告会を開催し、自治労からは15人が参加した。

開会あいさつでは、西村恭介実行委員長が「高校生平和大使の活動は長崎でスタートし、2000年に兵庫でも選出、活動が始まった。当時はコロナ禍で集まる事自体が難しかったが、高校生たちは『自分たち出来る事をしていく』と活動を持ってきた。新しいや

り方で平和への思いを広げていく高校生たちは、私たちの希望だ。5月には第28代高校生平和大使を選出する。更なる支援をお願いします」と訴えた。

その後、高校生平和大使の細谷美優花さん、活動メンバーの勢溜萌依さん、原野蓉子さんからノルウェー派遣、ジュネーブ派遣、広島研修、長崎行動、署名活動、Zoom学習会など、1年間の活動について、感想を交えた活動報告があった。最後に「すでに考えを持っている人を変える事は

高校生平和大使総会

平和への思いを広げたい

高校生だから出来る活動に期待

難しい。まだ知識の少ない学生等を知る機会を作り学んでもらう方が理解してもらえる。大きな事をするのは難しいが、SNS等を使って発信し平和大使の活動を伝えていく。続けていく事で、まわりに興味や関心を持つてもらえるようになってきた。次の高校生平和大使も学び続ける事を忘れず、人との出会いや繋がりを大切にしてほしい」と力強く語った。



集会の様子

平和フォーラム関西ブロック
憲法は押し付けられたものではない

法役割は国家が暴走しないように監視すること」を確認したうえで、日本国憲法は戦後、選挙で選ばれた議会で議論し、施行していることから「押し付けられた憲法ではない」と説明。

平和主義について9条の条文と解釈を確認しながら実態との乖離に触れ「唯一の被爆国である日本は軍隊を持たない国をめざすのか」と参加者に問いかけた。

また、労働運動については職場と居住地が離れている場合があり、組織率の低下とともに地域活動が減少し、労働運動と市民運動に乖離が生じていると指摘。職場や地域において憲法で保障された権利を行使していくことや、個人の課題として自己満足で終わらず、若年層に働きかけていくことが重要と語った。

自治労カップ少年野球大会
多くの協賛に感謝

県本部は青少年育成支援活動として、兵庫県軟式野球連盟と提携し、自治労カップ野球大会の運営を支援しており、4月26日から5月6日にかけて開催された大会へは、少年(中学生)36チーム、学童(小学生低学年)32チームが出場。

少年の部は西宮市代表の関西学院中学部が、また、学童の部では加古川市代表の東播ナインストリームが優勝を果たした。

大会への協賛金を募り、今回ご協力いただいた各単に感謝を申し上げます。

組野球部、他団体の皆さん

2025自治労カップ協賛団体

兵庫県職員労働組合／神戸市職員労働組合／神戸市従業員労働組合／神戸交通労働組合／尼崎市職員労働組合／西宮市水道労働組合／伊丹市水道労働組合／市立伊丹病院労働組合／宝塚市職員労働組合／三田市職員労働組合／淡路市職員労働組合／洲本市職員労働組合／南あわじ市職員労働組合／猪名川町職員組合／明石市職員労働組合／小野市職員組合／西脇市労働組合連合／加東市労働組合連合／加西市職員組合／姫路市職員組合／姫路市水道労働組合／たつの市自治団体労働組合連合会／宍粟市職員労働組合／相生市職員労働組合連合会／赤穂市自治団体労働組合連合会／多可町職員組合／稲美町職員組合／播磨町職員組合／神戸河役場野球部／佐用町職員組合／豊岡市職員労働組合／公立豊岡病院組合労働組合／公立八鹿病院職員組合／丹波市職員労働組合／丹波市役所野球部／丹波篠山市職員労働組合／神戸農政公社労働組合／自治労兵庫県本部直属支部／自治労神戸ブロック／自治労阪神・淡路ブロック共闘会議／自治労播磨ブロック共闘会議／自治労但馬・丹波ブロック共闘会議／明治安田生命／自治労共済／市町村共済／一般社団法人兵庫労働者福祉基金協会

仕事のスタート、
備えのスタート。

団体生命共済
長期共済
じちろうマイカー共済

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。
この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

＼ ご入職 おめでとうございます! /

私たちは **じちろう共済** をオススメします!!

まずは組合にご連絡ください

こくみん共済 <全労済> 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合